

2009年度AITワークショップのお知らせ

[沿革、主題と目標]

本学は、2004年12月にタイのアジア工科大学院大学 (Asian Institute of Technology、通称AIT) と「ジェンダーと開発」領域にかかわる大学間学術交流協定を結びました。この協定に基づき、本学・ジェンダー研究センターとAIT環境資源開発研究科が窓口となって、お茶大側からは、主には博士前期課程の院生(後期課程の院生の参加も可)が、**AITワークショップ<タイで、開発とジェンダーを学ぼう>**を実施してきました。また、AITの博士前期及び後期課程の院生が、研修のために日本を訪れ、本学の院生と研究交流を行っています。アジア諸国の将来を担う人材が集う、大規模な大学であるAITを訪ねてのワークショップ研修や、AITからの院生との交流は、国際社会におけるジェンダー研究の課題や研究の魅力を認識する、またと無い機会となっています。将来、NGOや国際機関で国際協力の仕事に従事したい方、国内外を問わず男女共同参画推進諸機関で働きたい方、あるいは研究者として、そして実践家としての視野を広げたい方には得難い経験であり、就職活動のアピール力にもなります。AIT Gender and Development StudiesのHP <http://www.ser.d.ait.ac.th/gds/>

[授業計画]

ワークショップの目的は、タイという具体的なフィールドで、開発とジェンダーにかかわる課題群の分析の方法や視座、また海外におけるフィールド調査の基礎を、体験的に学習していくことにあります。英語によるインタビューやプレゼンテーション等の絶好の訓練機会にもなります。ワークショップの内容や訪問先は、毎年、参加者と本学及びAIT側の「ジェンダーと開発」専攻教員とが相談して決めています。事前学習、AITキャンパスでの学習、フィールドでの調査、調査して得た知見の英語によるプレゼンテーション、さらに帰国後の報告書作成という工程を進めています。AITワークショップ派遣期間は、10日-14日ですが、半日程参加も可能です。なお、今年度は、ジェンダー研究センター提供科目「**国際社会ジェンダー論演習**」(2単位)の履修ができます。

<過去の共通テーマ>

2001年度 Gender and Development	2002年度 Gender, Work and Globalization	2003年度 Women, Globalization and Home-based Work
Migrant Workers' Rights in Thailand 協定締結		2004年度 Female Development in Thailand: Labor rights and violence against women
2007年度 Gender, Rights and Empowerment	2006年度実施せず	2008年度 Thailand-Japan Interactive Research Actions by Using Gender Perspectives

[開講時期、時間、教室、ワークショップ説明会]

7月15日(水) 12:15-13:00、人間文化創成科学研究科棟405で説明会を行います。関心がある方は、必ず参加してください。10月から3月(ワークショップ参加の場合)授業時間は基本的には水曜日の10:40-12:10を予定、ゲストの都合で変更。教室は、基本的には405だが適宜案内。

<担当教員> ジェンダー研究センター・大学院開発・ジェンダー論コース教員 館かおる、申琪榮
足立真理子、AIT環境資源開発研究科教員 Kyoko Kusakabe (日下部京子)ほか、ゲスト講師

<問い合わせ先> tachi.kaoru@ocha.ac.jp